

7 教科別研究協議

discussion

教科	発表者	共同研究者	協力委員	助言者
国語科	池田 昌史	静岡大学教育学部 大塚 浩 静岡大学教育学部 坂口 京子	静岡市立清水第七中学校 早川 潤	静岡市教育委員会指導主事 澤本 由美
社会科	長嶋 昌和	静岡大学教育学部 磯山 恭子 静岡大学教育学部 中條 暁仁	富士宮市立富士宮第一中学校 伊山 伸	静岡市教育委員会指導主事 内山 健
数学科	小宮 一晃	静岡大学教育学部 松元新一郎 静岡大学教育学部 熊倉 啓之	焼津市立東益津中学校 坂元 光延	静岡市教育委員会指導主事 小山 浩明
理科	海野 雅爾	静岡大学教育学部 熊野 善介 静岡大学教育学部 郡司 賀透	沼津市立金岡中学校 山口 恭介	静岡市教育委員会指導主事 森 稔
美術科	土肥 正通	静岡大学教育学部 芳賀 正之 静岡大学教育学部 川原崎知洋	静岡市立安東中学校 萩原 彰彦	静岡市教育委員会指導主事 見城 秀明
保健体育科	山下 雅也	静岡大学教育学部 新保 淳 静岡大学教育学部 岡端 隆	静岡市立大里中学校 古牧 大輔	静岡市教育委員会指導主事 門間 一徳
技術科	東 誠二	静岡大学教育学部 松永 泰弘 静岡大学教育学部 室伏 春樹	伊豆の国市立長岡中学校 本部 康司	静岡市教育委員会指導主事 毛利 敏久
家庭科	田島 淑美	静岡大学教育学部 小清水貴子 静岡大学教育学部 色川 卓男	藤枝市立青島北中学校 知久 真弓	静岡市教育委員会指導主事 早川 泉
英語科	高田 幸秀	静岡大学教育学部 矢野 淳 静岡大学教育学部 クレメンツ ピーター	焼津市立大富中学校 岩本 藤男	静岡市教育委員会指導主事 稲野 智成

共に創りあげる授業

— 集団に寄与する個を育む教科の学び —



1 期 日 平成26年 10月 17日(金)

2 会 場 静岡大学 教育学部 附属静岡中学校

3 研究主題 共に創りあげる授業
— 集団に寄与する個を育む教科の学び —

4 講演会 演題「21世紀型スキルを引き出す学びと評価のかたち」
講師 静岡大学大学院教育学研究科 准教授 益川 弘如 先生

5 日 程

受付	8:30
全体会 共に創りあげる授業 — 集団に寄与する 個を育む教科の学び — 研修部長 吉村 直也	9:00
移動	9:40
移動	9:55
事前説明会	10:10
移動	10:15
公開授業 (p.2) [第1時]	11:05
移動	11:20
公開授業 (p.3) [第2時]	12:10
昼食・休憩	13:00
教科別研究協議(p.4)	14:30
移動	14:45
講演会 演題 「21世紀型 スキルを引き出す 学びと評価のかたち」 講師 静岡大学大学院教育学研究科 准教授 益川 弘如 先生	16:15



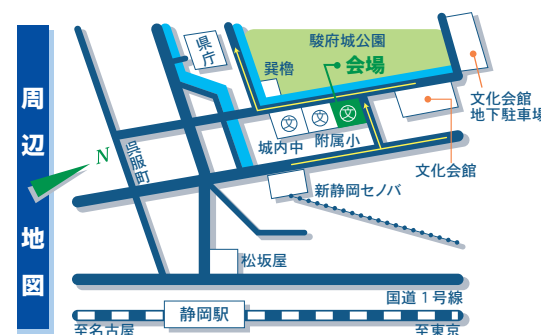
今年度は「共に創りあげる授業」というテーマのもと、新研究をスタートしました。21世紀型スキルを参考にしながら授業改善を重ね、「集団に寄与する個」のあらわれとはどのようなものなのかを探っていこうと考えております。初年度でもありますので、試行錯誤の繰り返しになると予想しますが、忌憚のないご意見やご指導をお願いいたします。

平成 26 年 9 月

静岡大学 教育学部 附属静岡中学校 校長 内田 恵

主催 静岡大学教育学部附属静岡中学校
後援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会

時刻表 (静岡駅)	◇ 新幹線		◇ 東海道本線			
	上り	下り	上り	行先	下り	行先
行き	(こだま) 8:02 着	(こだま) 7:57 着	行き	8:07 着	7:59 着	
	(ひかり) 8:11 着	(ひかり) 8:11 着		8:16 着	8:06 着	
	(ひかり) 8:37 着	(こだま) 8:29 着		8:22 着	8:17 着	
				8:35 着	8:30 着	
帰り	(ひかり) 16:37 発	(こだま) 16:29 発	帰り	16:36 発	熱海	16:29 発
	(こだま) 16:52 発	(こだま) 16:56 発		16:46 発	興津	16:43 発
	(こだま) 17:19 発	(ひかり) 17:11 発		17:00 発	熱海	17:02 発
	(ひかり) 17:37 発	(こだま) 17:29 発		17:10 発	沼津	17:13 発



キリトリ

静岡大学 教育学部 附属静岡中学校



〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番86号
TEL) 054-255-0137 [FAX] 054-252-7335
[URL] <http://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizuchu/>
[e-mail] shizuchu@fuzoku.ed.shizuoka.ac.jp

6 公開授業

▶ 第1時 10:15~11:05

教科	学級	題材名	概要	授業者	授業教室
国語	3年A組	『靴』が導く 不思議な世界 —本当の「自由」って 何だろう— 阿部公房『靴』より	阿部公房の作品は、一読しただけでは何を表現しているのかわからなかったり、自分の感覚を疑いたくなるほどの不思議な世界に引き込まれたり、難解で特異な要素をもってきます。しかし、表現を丁寧に読みとること、少しずつ作者の主張が浮き彫りになっていくおもしろさもあります。子どもたちとともに、作品に隠された作者の主張を導き、導き出した主張についてじっくり語り合うことで、考えの深まりを楽しみたいと思います。	池田 昌史	3年A組教室
社会	3年D組	危機感のない 「借金大国日本」 —国債から紐解く、 日本の財政に潜む カラクリ—	授業をしていると、「日本には借金がたくさんある」という子どもたちの発言に出会うことがあります。ところが、自分たちの生活する国の財政状況に対する危機感を覚える子どもは少ないのが現状です。本題材では、日本の財政状況に出会った子どもたちが、国債にかかわる事情を解き明かしていくことにより、「借金大国日本」に潜む、国債の世界を創りあげていきます。日本の財政を学んだ子どもたちと共に、日本の将来や地方の財政について語り合うことを楽しみにしています。	長嶋 昌和	3年D組教室
数学	2年D組	多角形の内部を 多角形でくりぬいた 図形の角の和の謎 —多角形の内角や外角の 性質を活用しよう—	多角形の内部を多角形でくりぬいた図形の角の和を求める方法には、多様な視点から生まれるいろいろな考え方があり、式を一般化したときの簡潔さや美しさを感じるころにおもしろさがあります。子どもたちは仲間とともに知恵を出し合いながら、生まれた規則性が成り立つ理由を考えていきます。解決に向かう語り合いの中で、感動と驚きを共有し、クラス全体で広げていく図形の世界を創りだしていく姿をぜひ見ていただきたいと思います。	松本 匡由	2年D組教室
理科	3年B組	目には見えない 水の中の“見える化!” プロジェクト —コロナの視点を生かして 水溶液を見つめ直す—	物質には、水に「溶けるもの」「溶けないもの」がありますが、その中間であるコロイドの存在は意外に意識されません。本題材において子どもたちは、水溶液の様々な矛盾から仲間と試行錯誤を繰り返し、粒子の大きさの違いや帯電による力の存在に気づくなど、水溶液のイメージを広げていきます。協議会では、水の中の世界に疑問をもった子どもたちが、仲間と共に解き明かすための道筋を創りあげる姿をお見せできればと思います。	山田 星治	第1理科室
美術	2年B組	壁画に込められた 人々の思い —ラスコー洞窟壁画の 鑑賞—	人々が狩猟生活を送っていた約17,000年前、ラスコー洞窟壁画は描かれました。本題材では、ラスコー洞窟壁画の鑑賞を行い、壁画を前にした古代の人々の会話をグループで考えていきます。会話を考えるためには、「なぜ壁画は描かれたのか」という問いに対して、自分たちなりの答えを探さなくてはなりません。人間は、なぜ表現するのでしょうか?人が生きることと美術との関係について、改めて考えてみたいと思います。	土肥 正通	美術室
家庭	1年C組	食材に願いを込めて —おせち料理よ 永遠なれ—	おせち料理は、作る人の願いが込められた特別な意味をもつ食文化として今も受け継がれています。本題材には、「誰のため」の願いなのかを明確にして、おせち料理に表現するおもしろさがあります。作り手として、思いをこめて食材選択から調理した品々を盛りつける楽しさを味わう子どもたちの姿をお見せできればと思います。おせち料理に込められてきた願いが受け継がれてきた理由を語り合うことで、子どもたちとともに日本の食文化を見直していきたいと思います。	田島 淑美	調理室
英語	2年C組	We Are Experts at Shopping! —丁寧な表現を用いて 買物しよう—	買物の場面でよく使われる表現を用いて、子どもたちは課題解決型の「タスク」を用いた活動に取り組みます。その中で「英語で言いたいけれど言えない」という思いをもった子どもたちが、タブレット端末を用いて振り返り、ペアやグループで意見を出し合い、どのような英語で表現すればよいのか考えていきます。子どもたちが習得した表現を使って、買物を楽しんでいる姿をぜひ見ていただきたいと思います。	高田 幸秀	2年C組教室
	3年C組	○年後の私は? —英語でわかりやすい スピーチをつくる—	「3年後?5年後?10年後?」子どもたちは、将来の自分を想像し、それぞれの思いをスピーチという形で発表します。スピーチの構成の仕方やパラグラフの書き方について丁寧に学習し、自分の思いをわかりやすく書いていきます。本時では、編集会議(推敲)を行います。編集会議で子どもたちは、内容のわかりやすさを中心に話し合います。アドバイスし合う中で、よりわかりやすいスピーチの原稿をつくりあげていく姿をご観覧ください。	岩崎 公一	3年C組教室

会費 ・ **2,000円**(資料代を含む)

- その他
- お弁当の購入を希望される方は、会場にて食券を販売しますのでご利用ください。
 - 駐車場は、数に限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。(雨天の場合には、本校駐車場がご利用いただけません。付近の有料駐車場をご利用ください。)
 - 参加ご希望の方は、**10/10(金)まで**に参加申込書をお送りください。(郵送、FAX…054-252-7335、またはe-mail でお願います。)参加申込書は、本校ホームページからもダウンロードできます。

▶ 第2時 11:20~12:10

教科	学級	題材名	概要	授業者	授業教室
国語	1年A組	「P.S.」から 見えてくる、作品のテーマ —本文を読み深め、 筆者の意図に迫る— 辻仁成「そこに僕はいた」より	小説題材を扱ったとき、ちょっとした言葉に着目すると、筆者が意図的に示した構成や表現の工夫に気づき、より読みが深まること…ありませんか? 今回の題材では辻仁成の「そこに僕はいた」を扱います。子どもたちとともに本文を丁寧に読み進め、「P.S.」における筆者の意図を探る活動を通して、作品のテーマをとらえようと考えています。子どもたちが読み深めた内容を基に、自分たちの読みを創りあげる姿を見ていただきたいと思います。	梶山 哲耶	1年A組教室
社会	2年C組	幕末を生きる —日本にとっての 最善の決断—	世の中が大きくかわりそうなき、そこに生きる人々は何を感じ、どのようなことを考えるのでしょうか。新しく生まれ変わることができる期待、この先どうなるのだろうかという不安など、人々はさまざまな思いを抱くことでしょう。日本としての選択が積み重ねられていく幕末は、歴史に数ある分岐点の中の一つです。日本にとっての最善とは何か、当時のようすを感じながら、子どもたちとともに決断の瞬間を味わってほしいと思います。	野沢 康夫	2年C組教室
数学	1年D組	円錐に潜む 不思議な関係	子どもたちから問いが生まれるような教材との出会いをどう演出すればよいのか。その問いをつないで発展させていくために授業者は何をすればよいのか。円錐の不思議さやおもしろさを感じ、図形への興味・関心が高まるような授業をクラス全員で創るためには、これらの問いについての答えを探るために、子どもたちが図形についての計量の能力を伸ばしながら、円錐に潜む比例や反比例の関係を見つけていく授業を行いたいと思います。	大畑 智裕	1年D組教室
理科	2年A組	君も発明王 —フィラメントの性質から 電流・電圧を考える—	なぜ、電球は光るのでしょうか。その鍵は、フィラメントと呼ばれる金属にあります。では、どのような条件下でフィラメントは光るのでしょうか。本題材では、フィラメントに流れる電流や電圧の関係性を見いだすことを通して、光る理由を探ります。その際には実証性や再現性、客観性をもとに根拠を大切に、誰もが納得のできる考えを仲間と共に創りあげていきます。電気の世界について、子どもたちと理解を深めていけるようにしたいと思います。	海野 雅爾	第1理科室
保健体育	3年C・D組	サッカーダイジェスト ゲーム —「リスタート」から考える アタッキングサードでの 戦術—	ボール保持者に対して、自由にプレーできる時間とスペースを与えないことを鉄則としているサッカーにおいて、「リスタート」は唯一、相手からプレッシャーを受けずにプレーを開始できる断片的な機会です。本題材では、ゴール周辺の「リスタート」から、仲間同士の連携を生かしたさまざまな戦術を創りあげていきます。それぞれの戦術における自分の役割を明確にもち、一人一人がイメージしたよりよい動きを互いに伝え合う子どもたちの姿をご覧ください。	山下 雅也	グラウンド
技術	3年A組	千差万別なプログラム —センサーを用いた 自動走行車を創ろう—	最新の自動車を見ていると、レーダーやカメラなどのセンサーを搭載して衝突を回避した車種が増えてきました。乗る人の安全を意識して作られたこの技術に、驚きを感じた人も多かったと思われれます。そこで、本題材では、この“ぶつからないクルマ”の動きを模型で再現したいと考えました。自分の思い描いた動きを実現していくために、センサーを活用して、自動制御していくおもしろさを、子どもたちと一緒にプログラム作成から味わってほしいと思います。	東 誠一	作業室
英語	1年B組	会話は思いの キャッチボール —身近な人を紹介しよう—	英語で会話ができたらどんなに楽しいでしょう!英語で会話を続けるためには、相づちをうつ、聞き返す、質問をして話題を深めるなど、相手を意識して会話をつなぐことが大切です。本題材では、身近な人を話題として、会話を盛り上げたり継続させたりするための工夫を子どもたちとともに考えていきます。2人での会話を振り返った子どもたちが、3人での会話を楽しむ姿をご覧ください。	稲葉 英彦	1年B組教室

キリトリ

平成26年度 **教育研究協議会 参加申込書** [10/10(金)まで] e-mail または FAX での申し込みも受け付けております。下記の内容をご連絡ください。

学校名	No.	職名	氏名	教科
	1			
	2			

住所(〒 -)

TEL () - FAX () -